耐震診断結果公表

■体育館（一般公共の用に供されるもの）

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	旭川市総合体育館		旭川市花咲町５丁目4040-18ほか	体育館					
		本館棟（管理・観覧席部分）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.20 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.71 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25
		本館棟（大屋根部分）			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.30 （ 0.7 ） q = 0.94 （ 1.00 ）	未定	未定	
		小体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 （ 0.7 ） q = 1.46 （ 1.00 ）	－	－	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■病院，診療所

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	大西病院		旭川市４条通１１丁目2230番1ほか	病院					対象外部分（新耐震）昭和63年以降増築 2,878㎡
		5階以下（RC造部分）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.21 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.10 （ 0.24 ）	建替え	検討中	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.0
		5階以上（S造部分）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	Is = 0.11 （ 0.6 ） q = 0.45 （ 1.00 ）	建替え	検討中	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■集会場、公会堂

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	旭川市民文化会館		旭川市7条通9丁目48番地ほか	公会堂					
		大ホール			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.05 (1.0) $C_T \cdot S_D$ = 0.44 (0.30)	－	－	
		小ホール			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.61 (1.0) $C_T \cdot S_D$ = 0.32 (0.30)	－	－	
		管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 0.45 (1.0) $C_T \cdot S_D$ = 0.28 (0.30)	未定	未定	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■百貨店，マーケットその他物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	オクノビル		旭川市３条通７丁目418-1ほか	物品販売店舗					
		既存部（ゾーン1）４階以下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版） 鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 0.36 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.12 (0.20)	検討中	検討中	Z= 0.8 , Rt=1.0 , G= 1.0 , U= 1.0
		既存部（ゾーン1）５階以上			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.22 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.14 (0.24)	検討中	検討中	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.0
		増築部（ゾーン2）４階以下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2009年版） 鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 0.96 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.32 (0.20)	検討中	検討中	Z= 0.8 , Rt=1.0 , G= 1.0 , U= 1.0
		増築部（ゾーン2）５階以上			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.16 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.52 (0.24)	－	－	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.0
2	三番館ビル		旭川市３条通１５丁目638番地1ほか	物品販売店舗					耐震補強設計済
		４階以下（RC造部分）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.56 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.30 (0.24)	耐震改修	検討中	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.0
		４階（S造部分）			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	Is = 0.18 (0.6) q = 0.74 (1.00)	耐震改修	検討中	
3	大成ファミリープラザ		旭川市６条通１４丁目64ほか	体育館・物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨 鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2009年版）鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 1.02 (1.0) C_{TU}・S_D = 0.22 (0.20)	－	－	Z= 0.8 , Rt=1.0 , G= 1.0 , U= 1.0 令和4年2月耐震改修完了
4	フィール旭川		旭川市１条通８丁目108番地ほか	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1997年版） 鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 1.02 (1.0) C_T・S_D = 0.20 (0.20)	－	－	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.0 平成19年12月耐震改修完了 対象外部分（新耐震）新館部分
5	マルカツデパート		旭川市２条通７丁目227-1ほか	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	Is = 0.10 (0.6) q = 0.46 (1.00)	補強設計 耐震改修	令和4年度 令和5年度	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■ホテル，旅館

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	旭川トーヨーホテル		旭川市７条通７丁目32番地12ほか	ホテル					耐震補強設計済
		本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.25 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.16 （ 0.24 ）	検討中	検討中	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.0
		新館 2階以下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2009年版）鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 0.19 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.10 （ 0.20 ）	検討中	検討中	Z= 0.8 ， Rt=1.0 ， G= 1.0 ， U= 1.0
		新館 3階以上			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）	Is = 0.18 （ 0.6 ） q = 0.62 （ 1.00 ）	検討中	検討中	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	セブンビル		旭川市3条通7丁目425番地1ほか	飲食店					
		6階以下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2009年版） 鉄骨が充腹材の場合	Is/Iso = 0.66 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.22 （ 0.20 ）	検討中	検討中	Z= 0.8 ， Rt=1.0 ， G= 1.0 ， U= 1.0
		7階以上			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.54 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.11 （ 0.24 ）	検討中	検討中	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.0

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	旭川北洋ビル	旭川市4条通9丁目1703番地73ほか	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1997年版） 鉄骨が非充腹材の場合	Is/Iso = 1.02 （ 1.0 ） $C_T \cdot S_D$ = 0.40 （ 0.23 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.0 平成20年11月耐震改修完了 銀行及び集会場部分有り

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■保健所，税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	旭川市役所旧総合庁舎		旭川市6条通9丁目46	庁舎					危険物の貯蔵場の用途に供する建築物
		総合庁舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 0.005 （ 1.0 ） $C_T \cdot S_D$ = 0.004 （ 0.30 ）	建替え	令和2年度 ～ 令和6年度	
		議会棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 0.58 （ 1.0 ） $C_T \cdot S_D$ = 0.38 （ 0.30 ）	建替え	令和2年度 ～ 令和6年度	
		別棟			一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	GIs = 1.29 （ 1.0 ）	－	－	
2	旭川市役所第三庁舎		旭川市6条通10丁目2231	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.18 （ 1.0 ） $C_{TU} \cdot S_D$ = 0.16 （ 0.36 ）	除却	令和7年度予定	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.5
3	旭川地方・家庭裁判所		旭川市花咲町4丁目2272-16	裁判所	一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	GIs = 1.00 （ 1.0 ）	－	－	平成22年2月耐震改修完了
4	旭川中央警察署庁舎		旭川市6条通10丁目2231番2	警察署	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.01 （ 1.0 ） $C_T \cdot S_D$ = 0.74 （ 0.30 ）	－	－	平成11年3月耐震改修完了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■小学校・中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程・特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	愛宕小学校	旭川市豊岡８条６丁目66-7ほか	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.05 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.68 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成28年1月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
2	神居中学校	旭川市神居４条５丁目385-1ほか	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.01 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.37 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成22年3月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
3	神居東小学校	旭川市神居１条１７丁目3-4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.06 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.69 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成28年1月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
4	啓明小学校	旭川市南２条通２２丁目1974-98 ほか	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.07 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.68 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成27年1月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
5	正和小学校	旭川市大雪通８丁目506-20	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1 次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.18 （ 1.0 ）	－	－	屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
6	近文小学校	旭川市緑町１７丁目2254-1ほか	小学校			－	－	法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.17 （ 1.0 ） C_T・S_D = 0.62 （ 0.30 ）	－	－	平成16年12月耐震改修完了
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.13 （ 0.7 ） q = 2.16 （ 1.00 ）	－	－	平成18年2月耐震改修完了
7	知新小学校	旭川市８条通１３丁目4161	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.06 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.69 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成22年9月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
8	豊岡小学校	旭川市豊岡10条3丁目125-69	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.60 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.39 （ 0.30 ）	建替え	令和4年8月 ～ 令和6年1月	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■小学校・中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程・特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
9	永山小学校	旭川市永山5条18丁目301-1ほか	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.10 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.73 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成28年1月耐震改修完了 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
10	日章小学校	旭川市6条通5丁目25ほか	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.57 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.37 （ 0.30 ）	耐震改修	令和5年10月 ～ 令和6年12月	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
11	北海道旭川盲学校	旭川市旭町2条15丁目199-19	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.65 （ 1.0 ） C_T・S_D = 1.02 （ 0.30 ）	－	－	屋内体育館を除く
12	北海道旭川養護学校	旭川市春光台2条1丁目1-2	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.00 （ 1.0 ） C_T・S_D = 0.43 （ 0.30 ）	－	－	屋内体育館を除く
13	北海道教育大学附属旭川中学校	旭川市春光4条2丁目3637-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（1990年版）	Is/Iso = 1.28 （ 1.0 ） C_T・S_D = 0.70 （ 0.30 ）	－	－	屋内体育館を除く
14	緑が丘小学校	旭川市緑が丘3条4丁目1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.03 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.49 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 平成27年12月耐震改修完了
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.79 （ 0.7 ） q = 1.71 （ 1.00 ）	－	－	平成26年1月耐震改修完了
15	明星中学校	旭川市東5条1丁目1-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 0.40 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.26 （ 0.30 ）	耐震改修	令和5年7月 ～ 令和6年12月	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2
16	陵雲小学校	旭川市末広1条7丁目265-5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	Is/Iso = 1.33 （ 1.0 ） C_{TU}・S_D = 0.33 （ 0.30 ）	－	－	Z= 0.8 ， G= 1.0 ， U= 1.25 屋内体育館を除く 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは，附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価（Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し，又は崩壊する危険性が低い）を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物